



一般社団法人 日本病理学会  
〒101-0041  
東京都千代田区神田須田町 2-17  
神田 IN ビル 6 階  
TEL: 03-6206-9070  
FAX: 03-6206-9077  
E-mail: jsp-admin@umin.ac.jp  
http://pathology.or.jp

一般社団法人日本病理学会

第 413 号

令和 4 年 (2022 年) 9 月刊

## 1. 一般社団法人日本病理学会令和 4 年度秋期特別総会 のご通知 (正会員各位)

来る令和 4 年 11 月 17 日 (木) 13 時 20 分より 14 時 40 分まで盛岡市民文化ホール大ホール (盛岡市) に於いて、一般社団法人日本病理学会令和 4 年度秋期特別総会 (社員総会) を開催いたします。下記事項の審議となりますので、ご出席くださいますようお願い申し上げます。

また諸般の事情により予定が変更となる場合は HP にて速やかにお知らせをいたします。会員におかれては会員システムからのメール配信等とあわせてご留意いただけますよう、よろしくお願い申し上げます。

### 記

#### 議題

1. 令和 3 年度事業報告並びに収支決算に関する件
2. 令和 5 年度事業計画ならびに収支予算の件
3. 定款変更の件
4. 定款施行細則改定の件
5. その他

## 2. 日本病理学会誌第 111 巻 2 号 (学会抄録号) について

標記学会抄録集を会員向けに公開いたしました。

病理情報ネットワークセンター

(会員番号とパスワードが必要です)

[https://e-learning.pathology.or.jp/pluginfile.php/23196/mod\\_resource/content/9/sokai\\_program\\_221007.pdf](https://e-learning.pathology.or.jp/pluginfile.php/23196/mod_resource/content/9/sokai_program_221007.pdf)

会員システム内よりダウンロード

(会員番号とパスワードが必要です)

<https://member.pathology.or.jp/auth/realms/master/protocol/saml/clients/jsp>

※令和 3 年 10 月より両システムの ID, PW を統合する

SSO (シングルサインオン) が導入されております。

冊子体 (印刷物) 抄録集は有料となります。

会員 1 冊 ¥1,000- 非会員 同 ¥3,000-

冊子体の郵送送付を希望の方は下記に従いお申し込みください。

#### 1) 申し込み・問い合わせ先

日本病理学会事務局 E-mail [jsp-admin@umin.ac.jp](mailto:jsp-admin@umin.ac.jp)

#### 2) 「日本病理学会誌 111 巻 2 号購入希望」と件名に明記の上、以下の情報を e-mail にてお送り下さい。

1. 会員番号 (非会員の場合はその旨を記載)
2. 氏名
3. 所属
4. 冊数
5. 送付先 ※会員は原則学会登録住所宛となりますので不要です。

#### 3) お支払い

冊子に郵便振替用紙を同封しますので、到着から 2 週間以内に郵便局よりお振り込み下さい。請求書払等を希望される場合はその旨、お申し込み時にお知らせ下さい。

#### 4) 発送時期

10 月中旬頃より順次発送予定です。大会の事前送付をご希望の場合は、11 月 4 日までにお申し込み下さい。

## 3. 病理専門医資格の更新について

病理専門医資格更新の本年度該当者には、学会事務局より必要書類を 9 月初旬に送付いたしました。該当であるにもかかわらず、必要書類が送付されていない場合は、事務局までご連絡ください。更新年、会員システムより各自ご確認が可能です。更新のご希望がない場合も、必ず事務局宛にご一報ください。専門医資格保留中の方で本年度に更新 (復帰) 申請を希望される場合は、日本病理学会事務局までご連絡ください。必要書類を送付いたします。

提出締め切り: 令和 4 年 10 月 31 日 (月) 消印有効

## 4. 口腔病理専門医資格の更新について

口腔病理専門医資格更新の本年度該当者には、学会事務局より必要書類を 9 月初旬に送付いたしました。該当であるにもかかわらず、必要書類が送付されていない場合は、事務局までご連絡ください。更新年、会員システムより各自ご確認が可能です。更新のご希望がない場合も、必ず事務局宛にご一報ください。専門医資格保留中の方で本年度に更新 (復帰) 申請を希望される場合は、日本病理学会事務局までご連絡ください。必要書類を送付いたします。

提出締め切り: 令和 4 年 10 月 31 日 (月) 消印有効

## 5. 日本病理学会「認定施設」および「登録施設」の認定申請（新規）について

標記のとおり、日本病理学会認定施設及び登録施設の新規申請を受け付けています。ご希望の施設は下記 HP をご確認ください、必要書類をダウンロードの上、申請してください。申請には割検例が割検輯報に搭載されていることが必須条件です。

・学会 HP 新着情報 8月23日付：

<https://www.pathology.or.jp/news/byouri-senmonii/20220823info.html>  
「第45回（令和4 / 2022年）日本病理学会認定施設および登録施設の認定申請について」

・申請書類提出先（郵送のみの受付）

〒101-0041

東京都千代田区神田須田町2-17 神田 IN ビル6階

日本病理学会事務局 認定施設申請受付係

・提出締め切り：令和4年10月31日（月）消印有効

※申請をする施設は、2021年（1月～12月）の割検データを、その施設として登録完了後、施設申請書類を病理学会へ送付してください。（連携している施設とデータを一緒に登録することはできません）

## 6. 大腸癌における抗HER2抗体療法（ペルツズマブ及びトラスツズマブ併用療法）のコンパニオン診断（HER2病理診断）の実施に関する見解

HER2病理診断は、乳癌、胃癌に対して行われていますが、2021年11月に唾液腺癌、2022年3月には大腸癌に対して求められるようになりました。乳癌、胃癌では日本病理学会 乳癌・胃癌 HER2病理診断ガイドライン（第2版）の判定基準に基づいて行われる一方、唾液腺癌および大腸癌ではコンパニオン診断としてのHER2病理診断が必須であり、それぞれのコンパニオン診断薬（以下、CDx）承認検査キットの添付文書の判定基準に基づき行われることとなります。日常診療において、HER2病理診断を実施するにあたっては、これに用いられる免疫組織化学染色（IHC；immunohistochemistry）法およびin situハイブリダイゼーション（ISH；in situ hybridization）法の双方を検査法の診断基準の成り立ちと背景を十分に理解し、また両法の相互補完関係を把握することが求められます。

今回、日本病理学会として、「大腸癌における抗HER2抗体療法（ペルツズマブ及びトラスツズマブ併用療法）のコンパニオン診断（HER2病理診断）の実施に関する見解」を取りまとめましたのでここに公開いたします。

詳細は以下PDFをご確認ください。

<https://www.pathology.or.jp/news/kenkai20220922.pdf>

## 7. 会員の訃報

以下の方がご逝去されました。

永井一徳 功労会員（令和2年11月17日 ご逝去）

山本 肇 功労会員（令和4年2月16日 ご逝去）

成松英明 功労会員（令和4年5月20日 ご逝去）

三方一澤 功労会員（令和4年6月30日 ご逝去）

松田陽子 学術評議員（令和4年9月17日 ご逝去）

## お知らせ

### 1. 【周知依頼】C-2水準に関するホームページ「医師の働き方改革 C2 審査・申請ナビ」が公開されました

厚生労働省医政局医事課より、「医師の働き方改革 C2 審査・申請ナビ」について周知依頼がございました。詳細は以下ホームページよりご確認よろしくお願いたします。

<https://c2-shinsasoshiki.mhlw.go.jp/>

### 2. 【周知依頼】医師の働き方改革に関する制度に関するご案内

厚生労働省医政局医事課より、標記周知依頼がございました。詳細は以下ページよりご確認ください。

○医師の働き方改革の制度解説ページ：医師の働き方改革に関する最新情報はこちらでご確認ください

<https://iryoku-kinmukankyou.mhlw.go.jp/information/explanation>

○医師の働き方改革の制度に関する施行通知（「良質かつ適切な医療を効率的に提供する体制の確保を推進するための医療法等の一部を改正する法律」の一部の施行等について）

[https://iryoku-kinmukankyou.mhlw.go.jp/pdf/outline/pdf/20220428\\_1.pdf](https://iryoku-kinmukankyou.mhlw.go.jp/pdf/outline/pdf/20220428_1.pdf)

○医療機関の医師の労働時間短縮の取組の評価に関するガイドライン（評価項目と評価基準）第1版

[https://iryoku-kinmukankyou.mhlw.go.jp/pdf/information/2021/20220523\\_02.pdf](https://iryoku-kinmukankyou.mhlw.go.jp/pdf/information/2021/20220523_02.pdf)

○医師労働時間短縮計画作成ガイドライン第1版

[https://iryoku-kinmukankyou.mhlw.go.jp/pdf/information/2021/20220523\\_01.pdf](https://iryoku-kinmukankyou.mhlw.go.jp/pdf/information/2021/20220523_01.pdf)

○医療機関の宿日直許可申請に関する支援と相談窓口：厚生労働省への相談窓口 URL が掲載されております

[https://iryoku-kinmukankyou.mhlw.go.jp/pdf/information/20220629\\_01.pdf](https://iryoku-kinmukankyou.mhlw.go.jp/pdf/information/20220629_01.pdf)

○宿日直許可申請に関する解説資料（参考事例）22.07：宿日直の許可事例等が紹介されております

[https://iryoku-kinmukankyou.mhlw.go.jp/pdf/outline/pdf/20210720\\_02.pdf](https://iryoku-kinmukankyou.mhlw.go.jp/pdf/outline/pdf/20210720_02.pdf)

○医療機関の宿日直許可申請に関する FAQ 22.07：よくある宿日直許可に関するご質問を掲載しております

[https://iryoku-kinmukankyou.mhlw.go.jp/pdf/outline/pdf/20220621\\_02.pdf](https://iryoku-kinmukankyou.mhlw.go.jp/pdf/outline/pdf/20220621_02.pdf)

○病院長を対象とした医師の働き方改革トップマネジメント研修参加申込みサイト：9月15日の回は中堅医師向けの研修会（無料）になります

<https://hospital-topmanagement-seminar-r4.jp>

3. 【周知依頼】ペムプロリズマブ（遺伝子組換え）製剤の最適使用推進ガイドライン（非小細胞肺癌，悪性黒色腫，古典的ホジキンリンパ腫，尿路上皮癌，高頻度マイクロサテライト不安定性（MSI-High）を有する固形癌及び結腸・直腸癌，腎細胞癌，頭頸部癌，食道癌，乳癌，子宮体癌並びに高い腫瘍遺伝子変異量（TMB-High）を有する固形癌）の一部改正について

厚生労働省医薬・政策衛生局医薬品審査管理課長より，標記の周知依頼がございました。詳細は以下よりご確認よろしくお願いたします。

<https://www.mhlw.go.jp/hourei/doc/tsuchi/T220824I0010.pdf>

4. 【周知依頼】第160回日本医学会シンポジウム「危機にある日本の医学研究と将来展望」の収録映像掲載について

この度，標記の件について周知依頼がございました。詳細は以下よりご確認よろしくお願いたします。

[https://jams.med.or.jp/event/online\\_library\\_symposium.html](https://jams.med.or.jp/event/online_library_symposium.html)

※映像は簡単なアンケート回答後に閲覧可能となります

5. 公開シンポジウム「若手研究者をとりまく評価—調査結果報告と論点整理—」のお知らせ

日時：2022年10月6日（木）

13:00 から 15:30（オンライン開催）

詳細は以下よりご確認よろしくお願いたします。

<https://www.scj.go.jp/ja/event/2022/330s1006.html>

6. 基礎と実践から学ぶ『呼吸器画像診断の会』第5回セミナーのお知らせ

日時：2022年12月10日（土）（オンライン開催）

詳細は以下よりご確認よろしくお願いたします。

<http://rdi.umin.jp/>

7. 日本医学会 e-News No. 6 発行のお知らせ

詳細は以下よりご確認よろしくお願いたします。

<https://jams.med.or.jp/e-news/index.html>